をやらぬが、退却となると上級者の威壓が利かなくなるから、士卒は本性を現はして盛に掠奪暴行を働く。

第一次奉直戰で奉天軍敗退するや、張作相軍の一部は直隷省寶坻で掠奪をやつた。又此時奉天軍が山海關を引き揚げた時には山海關は非常な損害を受け、人歌つて『家に貞婦なく、村に處女なく、庫に一票なく、野に一穗なし』と謂うた。

昭和四年露支戰に黑龍江軍滿洲里及札賚諾爾に破れ敗兵走りて海拉爾に入るや、同地にありし奉天軍と呼應して掠奪を開始し無警察狀態となつた。

此事件中之に類する例は眞に枚擧に遑がない。

第七節　陣中勤務に現はるゝ支那軍の特性

(一)　航空機を以てする捜索は近時進歩したが、日本軍等に比較すれは技倆は甚だ幼稚である。

(二)　騎兵は地上捜索の訓練十分でない爲捜索には用ひられず、戰鬪に使用せらる。

(例　一)

大正十四年郭松齡事件の際奉天軍は郭松齡軍を遼河河畔に迎へ擊つたが、吳俊陞騎兵集團は郭軍の背後に進入し大白旗堡を襲ひ偶ゝ同地に在りし郭松齡夫妻を生擒して此事件の結末をつけた。

茲に面白き挿話がある。吳の進發に當り其顧問たりし人が忠告して曰く、

『敵の直接背後に進出するを可とす』

吳『諾』

顧『騎兵が決戰に方り會戰場裏を離るゝは許すべからざる過失なり、必ず敵の直接背後を攻擊せられよ』

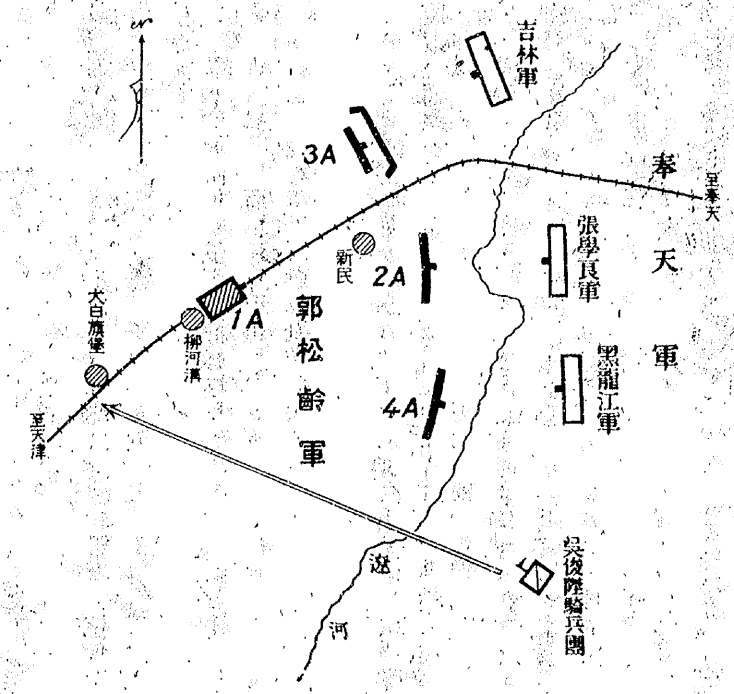
吳『諾　々』

而して騎兵集團は直接背後にあらずして、遠く背後の大白旗堡に進出した時、恰も郭松齡夫妻同地にあ

0501

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

りて之を生擒するを得た、全く怪我の功名である。



1060
0502

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

（例　二）

昭和五年の南北抗爭に方り、蔣介石軍は僅に張礪生の騎兵一師、安俊才の騎兵一旅を有するに過ぎざりしが、反蔣軍は數師より成る騎兵集團を有しありしを以て、蔣介石軍背後の交通線を遮斷し飛行場を襲擊した。因て蔣軍は之が守備の爲多大の兵力を充當するの必要に迫られた。

騎兵活動の例

1　昭和五年六月初旬臨城附近に於て津浦線は反蔣軍騎兵の爲遮斷された。

2　又同時頃碭山飛行場に反蔣軍騎兵現出したるも、早期に對應策を講じた爲無事なるを得た。

3　六月十四日歸德東方飛行場は反蔣軍挺進騎兵中隊に襲はれ、飛行機十機（或は五機とも謂ふ）燒却せられた。

4　六月十六日徐州、泰安間及徐州、歸德間にて鐵道、電線約二十箇所破壞せられた。

5　昭和五年六月、反蔣軍騎兵の一團柳河附近に現出した。當時柳河の停車場構内には蔣介石の總司令部あり、生憎衛隊は一大隊内外であつたので、總司令部の驚愕言語に絶し將に郭松齡の二の舞を演せんとしたが、反蔣軍騎兵は總司令部の存在を知らず、通過せしを以て蔣介石の身邊事なきを得た。

以上は支那軍騎兵の活動の例であるが、一般的に見ればまだ〳〵騎兵としての價値は劣等である。第一次奉直戰當時許蘭州の指揮する騎兵集團が搜索に努力せず、戰鬪に參加せず、退却に方りては第一に逃走せしが如きこの例である。然れども騎兵用法適當にして指揮官其人を得ば相當に活動する可能性を有するは戰例に徵して明かなれば、これを輕々に蔑視するは適當でない。

（三）　近距離、搜索、戰場搜索及夜間の搜索は不十分である。

（四）　敵情は多く密偵、間諜、便衣隊、又は土人によりて偵知する。

昭和五年南北抗爭に於て濟南方面に作戰せし山西軍及韓復榘軍の搜索勤務を見るに、搜索は主として便衣

0503

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

隊之に任じ特に重要なる方面には參謀に小部隊を附して派遣することあるも、普通武裝兵を斥候として遠く派遣すること稀である。又時に派遣するも其效果は期し難い。

故に特種任務に服すべき便衣隊を常に司令部に準備し、隨時之を使用する。便衣隊員は通常外套を著し、合言葉によりて出入し、尙著裝上特種の標識例へば釦の色、種類、大小を定め、或は某釦を特に脫し、或は特に異なりたる釦を附する等を定め、外部より見えざる如く拳銃を携帶して居る。

然し此便衣隊の搜索能力も十分でなく、六月二十五日山西軍司令部濟南に入城したが、二十四日早朝退却を完了せる韓復榘軍の退却方向は明確に知得して居なかつた。

(五) 支那軍の警戒は單に敵情を監視するに止まり、進んで敵情を搜索し事を未然に防ぐの著意につき缺くる所がある。

(六) 前進行に前衞を設け、駐止すれば前哨を設くる。其警戒は極めて形式的である。特に側背に對する顧慮を缺く。然れども叛逆者の防止、敵密偵の進入防遏、刺客に對する高級指揮官の防衞等內部警戒は相當嚴重である。

昭和五年濟南方面に作戰せし山西軍及蔣介石軍に就て云へば、六月二十五日濟南に進入したる山西軍先頭部隊の市內通過の行軍狀況を見るに前衞は約一中隊にして、其直前十乃至二十米附近道路兩側に各三名の警戒兵を配置せしに過ぎずして、側方道路の如き一切搜索せざりし樣である。

又八月十五日蔣介石軍濟南奪回の先頭部隊たりし第六十一師の約一大隊は、單に數名の警戒兵を先頭として入城して來た。

大膽と謂へば大膽であるが、迂濶と謂へば甚だ迂濶である。只双方迂濶なる軍隊の內亂戰であるから餘り大なる間違も起らない。

(七) 步兵は天候地形の如何に關せず粗食、粗衣を以て一日平均四十粁の行軍を連續數日行ひて尙戰鬪の餘

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

力がある。

第二次奉直戰當時高紀毅の指揮する一隊は、險峻なる山地を戰鬪しつゝ一日十數里の前進を數日間繼續した。又韓復榘軍は行軍力に於て目下の支那軍中第一と稱せらるゝ所であるが、同軍將校の談によれば十日二十三邦里の行軍を實施した經驗を有すといふ。

結言

支那軍は世界の一流軍隊とは比較にならぬ程劣等な軍隊であることは事實であつて、其素質、編制、裝備及訓練等は之を學理的又は理論的に討究すれば却て滑稽の感を催す程である。

然し乍ら其雜然たる編制や綿入服に雨傘式の裝備も幾多國内戰の經驗に徵して改良された結果であり、天秤棒を以て擔送される砲兵隊が良く中支那や南支那の作戰に適して居る點から觀れば、所謂支那式軍隊が支那人の性質と支那大陸の氣候、風土に適合して居ると云ふことも亦看過出來ない所である。人往々にして支那軍形而下の劣弱と國内戰に於て暴露したる缺點のみを觀て極端に之を蔑視する者あるも、斯の如き輕侮心は常に油斷に陷り易い事は幾多戰史の證明する所であつて、吾人は特に戒心を要するものと信ずる。唯過度に支那軍に戒心し我が軍の行動愼重に過ぐるに於ては我が對支作戰の遂行も覺束なきに至るべきを以て、支那軍の特性を審かに研究して彼等の短所を觀破し、有事の際には彼等の短所に對し神速にして大膽なる作戰を敢行するの覺悟を以て豫め創意、工夫と兵馬の鍛錬とを重ね置くを要することを附言して結言とする。

0505

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp